

米兵死者560人余…戦後が76%

イラク戦争開戦以降、米兵の死傷者は増え続けている。米国防総省によると、15日現在の死者は564人。昨年5月1日の大規模戦闘終結宣言前の死者138人に対し、「戦後」は426人で全体の約76%にあたり、今も毎日ほぼ1人ずつ増えている。

民間イラク人約1万人犠牲

の資料などを分析・集計した米民間団体によると、戦闘・攻撃による死者は393人。死者全体の約7割を占め、湾岸戦争の147人の約2・7倍にのぼる。交通事故死や病死、自殺など戦闘・攻撃以外は171人。

戦闘・攻撃による死者は、戦闘終結宣言直後の5月が月別で最も少ない。資料などを分析・集計した米民間団体によると、7月から始め、11月までは全体の3割を占める程度だったが、その後は6割以上に増えている。ヘリ墜落による死者も約50人と多く、自動小銃やロケット弾などによる攻撃も目立つ。

道路脇などに仕掛けられた手製爆弾(IED)によるものが最も多く、死者は100人を超える。道路脇などに仕掛けられた手製爆弾(IED)によるものが最も多く、死者は100人を超える。

ストレスによると、1人から1万4300人の「イラク・ボディーカーント」によると、858人は、複数の報道で確認された死者を集計した、米英の研究者らによる「イラク・ボディーカーント」によると、858人は、複数の報道で確認された死者を集計した、米英の研究者らによる

にのぼるといっ。英軍は15日現在、死者は59人。うち戦闘・攻撃による死者は39人で、昨年11月からは死者は出ていないが、英軍に対する攻撃は駐留する南部バスラを中心に続いている。イラクの民間人犠牲者数は、複数の報道で確認された死者を集計した、米英の研究者らによる

米軍・英軍・各国駐留軍の戦闘・攻撃による死者数
03年3月20日～04年3月14日現在
米国防総省資料などをまとめたイラク・コアリション・カジュアルティ・カウンシルによる。写真はAPなど



(関本誠)